

日原小 学校通信

H28.12.15

2学期もあとわずかになりました。2学期は運動会に始まり、メディア教育研究大会、学校保健委員会、日小元気っ子チャレンジアップ週間、三校サイコーチャレンジアップウィーク、学習発表会、読書週間、体力アップ週間、ロードレース大会、人権週間の取組、全校遊び、各学年の校外学習など、たくさんの財産が詰め込まれた学期となりました。忙しくはありましたが、次々と打ち込めるものがあり、子ども同士、子どもと職員、様々に交流できて幸せでした。

※日原小学校人権週間の取組

12月4日から10日まで人権週間でした。本校の取組のなかの「ありがとう」の花満開キャンペーン等についてお知らせします。

5日朝、全校で担当の教員から人権週間について話を聞きました。

・・・人権とは、誰もが安心して暮らすためにとっても大事なものであり、一人一人誰もが持っている権利です。日原小学校では16日まで「ありがとう」の花満開キャンペーンを行います。「ありがとう」は、その言葉一つで場を和ませたり、互いに気持ちよくなったりするものです。だから、相手の行為や存在に感謝して過ごしたいと思います。・・・

6年生の代表の人からも「ありがとう」を声に出して言おう、「どういたしまして」と答えようと、呼びかけがありました。

この期間、昼の放送では、6年生が自分の言葉でキャンペーンに寄せる思いや、実際にあったことなどを話していました。教師側だけでなく子どもたちからも繰り返して言葉かけがあると全校の子どもたちに響く感じがして、よい取組だったと思います。また、人権に関する本もたくさん用意しており、少しずつではありましたが、手にとってみる子どもたちがいましたのでこれも嬉しく思いました。ちなみに私のお勧めは、エレナー・エステイス著 石井桃子訳 「百まいのドレス」です。移民の女の子との出

会いから始まる物語です。

このほかの活動として、人権標語を作成し掲示していきます。またキャンペーンの振り返りを個別に、学級ごとに、していく予定です。日ごろの生活を振り返り、これからも互いを尊重しあっていきたいと思っています。

※障がい理解学習

12月7日、益田養護学校の先生に来ていただいて、上記の学習を行いました。

ねらいとしては、次のようなことでした。

- ・社会のいろいろな工夫や一人一人の感じ方の違いを知り、その人にあった学び方があることに気づく。
- ・益田養護学校について知る。

まず、点字、点字ブロック、手話、補聴器、車いす、スロープなど、障がいのある人が生活・学習しやすいように工夫されていることの説明がありました。音に敏感な人のために雑音を防ぐイヤーマフ（ヘッドホンのようなもの）や触る迷路なども紹介されました。それから、養護学校の様子についても写真を見せながら話していただきました。

そこで、子どもたちに投げかけられたのは、「Aさんは、人の顔と名前を覚えるのが苦手です。どんな工夫をするとわかりやすいでしょうか。」という課題です。子どもたちは、グループで話し合った後、意見発表していました。シールに名前を書いてはる、写真の入った名札をつける、一人ずつなかよくなっていけるようにする、たくさん話す、Aさんが友達に聞いてみるなど、子どもたちなりに「工夫」を考えていました。Aさんの周りの人ができることに目を向けていいなあと思います。養護学校の先生は、周りの人の工夫として ◎何回聞かれてもやさしく答える ◎名前を間違えられてもやさしく答える、ということについても話してくださいました。そうすれば、Aさんはとっても安心なのだ。

周りの人のちょっとした「工夫」で、解決できそうなことがたくさんありそうです。社会の一員としてみんなが安心できるような対応をしていきたいものだと思います。

※体力アップ週間

11月下旬から12月9日まで、体力アップ週間でした。「ロードレース大会に向けて体力アップを図ろう」というねらいもありましたが、「しまねっ子 元気アッププログラムに挑戦」というねらいもありました。これには、学級みんなで挑戦、または友だちと一緒に挑戦、ということで取り組みました。そして、その成績は、玄関前のホワイトボードに書いていくのです。誰がどんな挑戦をしているのか、とても楽しみでした。マラソンはもちろんですが、よく取り組んでいたのは、8の字跳び、二重跳び、一輪車、壁つきパス、対面パス、ブリッジなどです。

子どもたちが、友だちを誘いあって体育館で挑戦しているのは、周りで見ても頼もしく思いました。8の字跳びの練習では縄を回す速さもなかなかのもの。5・6年は静かに張り合っていましたね。・・・しかし、6年生を越えられない・・・。

このように「みんなで挑戦」に燃えたこの体力アップ週間でした。(写真は、玄関にある記録を書いたホワイトボードですが、はっきりしていません。雰囲気を感じ取っていただければ・・・)



※食育～5年生「和食について～だしについて～」

和食が見直され、給食でも和食メニューを検討・実施しているところです。いりこ、かつお、昆布、しいたけのだしなどに加えて、ぜひ郷土の伝統の味、鮎のだしについて知ってほしい、味わわせたい、ということから、この5年生の授業が計画されました。

鮎のだしと言えば、お雑煮。職員室で、今作っている人がいるのだろうかという話題になり、いくつか情報を求めてみました。すると、鮎のだしのお雑煮を作っておられる人はわずかで、実際授業中に子どもたちにも「鮎のだしでお雑煮を食べていますか」と聞いたところ、反応はゼロでした。

それもそのはず、鮎自体がめっきり少なくなり、干し鮎を手間暇かけて作る人は本当に少なくなっているのです。実は我が家も高津川沿い。もちろん昔から鮎の出しでお雑煮を食べていましたが、とんと最近は作っていません。わざわざ干し鮎を買うこともしませんし、いただくこともありません。しかし、この授業について考えていく間に、この味は地域ならではの味ですから、子どもたちにぜひ味わってほしいという気持ちを強くしました。授業の中では、ほんの少しのだしにほんの小さいおもちでしたが、子どもたちにはぜひこの日の味を脳の片隅に留めてほしいです。

当日は食の専門家の方に来ていただいて、伝統の味についてお話いただきました。日原の味と言えば、鮎のほかにも、すっぽん、いのしし、もくずがに、こい、ふな、まつたけ、・・・。日本全体として食文化を大切に、興味を持って食べてほしいと話されました。

高津川水系の伝統の味を、みんなで守っていこうではありませんか。「食べたことがある」まずは、それでいいと思いますから。

※ 実のなる草木・・・ちょっとひとこと

11月の終わりのことです。校長室の前にナンテン、マンリョウ、ガマズミ、チェッカーベリーなどを並べてみました。2年生に大人気だったのは、くろがねもち。「よく知っているねえ。」と言うと、「まもるさんにカントリーパークで教えてもらいました。」と得意そう。体験学習や、恐るべし！ 担任の先生に聞くと「子どもたちはおおがねもちとか、言ったりしていましたけどね。」とのこと。かわいい2年生でした。



※ 行事予定

- | | |
|-----------|---------------|
| 12月22日(木) | 2学期終業式 |
| 1月10日(火) | 3学期始業式 |
| 1月20日(金) | 地域参観日 PTA 研修会 |